※この作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などとは一切関係ありません。
また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。

ああ なんだ キミかあ 何の用だい？
ええ!? もう忘れたんですか!!
呑舟の魚支流に游がずってのが信条でね
ひどいですよ 自分で勧めておいて
冗談だよ冗談
相変わらず速いね じゃあいつもの聞かせてよ
はいっ
初めて本の話ができる人に会えたのが嬉しかった…のもあったのですが
ブンッ
ブンッ
いまはそれ以上に…
えーっと
新年度が始まってから僕は図書室に通うようになりました
ぽぉっ
ぽっ
あっはははは！ 相変わらず君の感想は熱意たっぷりで面白いね!!
語彙力まるでないけど!!
別の目的でここに来ているような気もします

じゃあ次は…

コレ

読んでみてほしいな

な…なんですか ブックカバーで タイトルが…

剥がしちゃダメだよ 著者が見えてたら 先入観ができちゃう

流石にそんな ミーハーじゃ ないですよ僕

すごいんだこれ 夢中になって一晩で 読んじゃった

エグくて粘着質だけど 読後の後味が良くてね

ぜひ「キミ」の 感想が聞きたくて 用意して おいたんだ

どうかな？

え…あ…その そりゃ…

読みます… けど…

確かに面白いけど このストーリーも 描写の多さも…
一般レーベルなのに こんなの殆ど 官能小説じゃないか… こんなの 聞いてないよぉ…
ぷしゅぅぅぅ

うう… なにこれ…

今度のレビューは いつもよりじっくり 聞かせてね♪
とか言ってたけど

こんなの どんな顔で話せば いいんだ…
ていうか…
ばーっ
ぎゅっ
ぎゅぎゅ

はぁ
はぁ

もん
もん
これ… あの人も読んだん だよな…
こんな すごいのを…

明日…
どうやって顔合わせれば…
あっ…早見くん遅いよぉ!!
ずっと待ってたんだから
これから埋め合わせてよね！
なんすか…
そのキャラ…

急に呼んでごめんね
でもゆっくり
話したかったから
べ…別に…
あの本のせいか
変に意識して
喋りにくい…
なにか話題…
ぐいっ
大丈夫？
なんか元気ないけど

ほんとに？
汗すごいよ？
あ…いや…
そんな事…
ずっ
ぬちぬち
ぬちぬち

ほんとに！
ほんとになんでもなくて!!

あ…その
今日はちょっと暑…

その…
あっ着いたよ
ここの2階なんだ

ちょっとボロだけど
上がってってよ

うわー籠もってるね
熱気がすごいよ
ごめんねー
エアコンこの前
壊れちゃってさ

ッ!!
おおッ

そういえば女の子の
家に上がるの
初めてだ…
ポ○リ飲む？
麦茶のほうがいい？
あっ…麦茶で…

おちつかない…
綴部さん
一人暮らしだったんだ
それにしても…
テレビもない
すごい質素な部屋だなあ
隣いいかな

よいしょ

ぴくっ

ええ――――ッ

本 読んだ？
貸してあげたやつ

あっ…
はい

へーやっぱ速いね
どうだった？

えっと…
あの…その…

あの著者の本は
そこそこのタイトル
知ってましたけど

なんていうか

いつもより
内面の描写が粘着的で

頭真っ白で
言葉がっ

なんていうか…
こう扇情的な

もっと
ボキャブラを…

カラン

カラン

ちがうなぁ
なーんかいつもほど熱意が伝わってこないね
言葉が足らなくてもキミのあの楽しいレヴューを待ってたんだけど？

えっ!? ちょっ…

ビリビリ

今キミの熱は違うベクトルにあるみたい

ずぎゅ

そんな意味わからな…っ

ずしっ

あぁ あぁ

まぁ…キミがイヤなハズないよね
そんな…っいきなりいッ
ほとんど毎日会いに来て
意味なんか考えてないよやりたいようにしてるだけ
嫌ならやめるけど
顔を真っ赤にして熱の入った口調で寄ってきたなら
殆ど口説きに来てるようなものじゃない
な…っボクそんな
その気がないなら拒んでみたら？
できるでしょ一応オトコノコなんだから

っあ…ズルい
そんなの…っ
あぁ
ひぁぱ
あひぃ
あひぃイッ

綴部さん…っ そんなに強くっ

ボクもうっ 射精ちゃいそうで…ッ

ふーん いつでもいいよ

だって汚れちゃ…ッ

ヘーキヘーキ 飲んでアゲルからさ♥

冗談やめてくださいよッ そんなの…っ

ホントにもうっ 出そうな…ッ♥

イッ…ッ 射ぐ

ギューゥゥゥ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビニッ

ホントに…
飲むなんてっ
ビクッ
ビクッ

でも…これで…
んッ…♡

ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

ぷる
ぷる

ドクッ♡
ビクッ
ビクッ

状況と熱気で混乱した頭を一度…
くーるだ…
する
なあッ
やりたいようにって言ったでしょ？
だからって…流石にそれは…
ドンッ
ふーん でもコッチはやる気十分じゃない
オンナノコが腹くくってるんだ覚悟決めなよ

それとも…本当にわたしとはイヤだって言えなかった？
なら…
卑怯だよそんな殺し文句…
こっちの気持ちはわかってるのに
捻くれ者とは呼ばれ慣れてるさ

あぁ
あぁ
あぁ
はぁ
はぁ
これぇっすご…っ
ぱちっ
ぱちっ
ぱちっ
ぱちゅ
ぱちゅ
たんっ
たんっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅ

グチャグチャになる…ッ

ふふ…私ずうっと気になってたんだ

物語を綴れるとっても頭のいい人達が

作品の中でも特に沢山の言葉を使う行為が…

一体どんなものなのか…ってね

でも♥
こんなに気持ちいいなら
もっと早く君のキモチに応えればよかった♥

あっ♥ 腰っ
浮いてきたねっ♥ 初めてでも
どうしたらいいか
分かるんだ♥

ぼ…っ
ぼくもう…っ

いいよ♥
イキたい時に
イキなよ

でもっ…

いーよ
今日は大丈夫

だから…ね

あッ あッ
射精る♥
ビュッ
ビュッ
ビュッ

キミもこのままじゃ
収まらないでしょ？
19:08
はッ♡
ガクヤク
ぱぁ♡
ぱぁ♡
ぱぁ♡

流れる汗は
お互いの肉体が
溶け合うようで
部屋の暑さで
火照った体が
絡み合って
思考と肉体が
融解していくような
麻薬的な快楽は
ばすんッ
ばすんッ
ぱちゅッ
ぱちゅッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ぬぷッ
ぬぷッ
ぬぷ

理性を欠くには十分な量だった
ドクッ
ドクッ
ドクッ
あっ…はぁ♥すごい熱い…
ヘンビッ
ヘンビッ
ビクッビクッ
ビクッ
お腹…っ叩いてくる…♥
はぁ…はっはぁ♥
はッ…

今何時ですか…
丑三つ時泊まってきなよ
あ 起きた
がばっ
えっでも
お家にはテキトーに言い訳つくでしょ
それに
今日の感想まだ聞いてないしね
なんならもう一回しようか？
ホントにもうからかわないでください!!
熱くなると語彙力が薄くなるのは君の悪いところだぞ
〜〜〜〜〜〜ッ

本の虫は溺れる☆END

図書室
ちんちん気持ちいいッ♡
綴部さん…ッボクッ…
もう…ッ
いいよ…早見くん…ッ♡
このまま…膣中に…ッ♡
射精ます…♡
あぁ…♡イきます…ぁ…
へへッ若いっていいねぇ…

でもショックだぁ
優等生の
綴部ちゃんが…
こんなおイタ
してたなんて
これ…先生や
保護者サマが
観たら…
う…
俗世の女どもと
違う図書室で凛と
佇むキミの事
カメラを仕掛けて
レンズ越しにずっと
みてたんだぁ♡
おじさん大好き
だったのになぁ
それが…
あんな
ガキに！

オ…おねらいれしゅ…♡
嫌ッ
臭い…吐きそう
わりゃっ…ひがぁ…
気持ち悪いッ
この学校に居てもらうために…
汚いチンポッ
気持ち悪い…ッ
んん～そうだね♡綴部さんはおじさんの恋人になったんだもん
黙っておくよ♡
気持ち悪いキモチワルイッ
気持ち悪いのになんで…
こんなにチンポがいいトコ…
当たるのぉ♡

ほ…本当に大丈夫なんですか…

ああ…今日はそういう事だから

用務員の方と点検作業があるほら体操着だろ

で…で、も

僕も何か手つだ…

いや…いい君は委員じゃない「部外者」だ

帰っていいよ

ヒャハハ…ッひでぇなーァオイカワイソーじゃないか！

どうせ…ッ彼が居てもするんだろッ♡

図書室は…彼との大事なッ♡

なのに…ッ♡

こんな姿ッ彼には…♡

うるせぇよチンポしてぇだけだろ♡

私は何をしているんだ…

澄ましてンのは嘘ッパチでぇッ
この牛みてぇなブっとい喘ぎ声で鳴いてんのが…ッ
本性だろうがッ♡
ちがッ…♡

オオッ♡膣の壁がチンポ擦り締めてきた♡糞淫売女がッ♡
肉が別の生き物見てぇ…にッ♡
これからも俺のためにマンコ開けッ♡

はぁ…ッ♡俺のだッ…♡
バカ乳もマンコもッ♡
二度とあのガキに触らせるなよッ♡

おぉ…ッ♡お～～～ッ♡
いいぞ…全部吸い出せッ…
お前のマン汁で汚れたチンポを責任取って掃除しろッ♡

へへ…普段のキレイな顔が…汚物まみれだ…♡
ばぁ
にち
ねちっ
お掃除も大分うまくなったなぁ♡
唇やわらけぇ～♡優しく吸い出せよ
んぐ
じぽっ
ちゅ
んぐ
ぢゅっ
あ～射精たわ…飲めなかった分は顔面に塗り込んで…
俺専用の証マーキングにしてやる…♡
ビキッ
ドロ
ドロ
ビキッ
ゴポ
ぐぷ
ぐぷ
クソ色ボケ脳にしっかり自分の主人の臭いを覚えさせろよ
ぎゅぅ
アレを握ってる限り一生俺の支配下から逃がさないからね♡
ビクッ

ぺた
ぷりっ
ぷりっ
も…ッ
ぺた…
ぺた…
ぺた…
これ以上は…
ぺた…
ぺた…
ぷる…
ぷる…
どうしたんだい？
早く歩かないと朝まで
お散歩することになるよ？
ぐすッ
ぐすッ
ぐすッ
ぐすッ
ぐすッ
くっ…
ぷるんッ
お…お願いします…
この先にある…
トイレに…
なにいってるんだ
犬が人間のトイレを
使うなんて変だろう？
はッ
はッ
はッ
じゅ…っ
さっきから言ってる
「そんな事」できる
わけ…ッ
生意気を
言うんじゃないぞ

綴部さんは賢いからわかるよね…♥

何度も言わせないでくれよ♥

君はもう…

何かを選べる立場じゃないんだ♥

ホホ…たまらんなぁ♥

普段の知的な姿から想像もできない変態行為♥

まさかこんな最高級エロ●Kが手に入るなんて…♥

クソガキどもの世話をしてきた甲斐があったわ♥

オォ～おしっこしながらまんこヒクついてエロい♥
もういやだ…恥ずかしい…
死にたい
なんでこんな…
お願いします…
もう許して下さい…
もう嫌です…許して…ッ
お願いします本当にもう無理なんです…
なんでもしますなんでも
なんでも言うこと聞き…
じゃあ…条件を付けよう
あ…
それをこなせたら綴部さんは解放してあげよう♥
君の彼氏の教室はこの階だよね♥

ヒッヒヒ♥ やっぱ綴部さん身体の相性いいね…僕と♥
チンポで小突くだけでイキ潮漏れてるよ♥
彼氏の机の君の本…濡らさなければ君の勝ち…
もう二度と関わらないと約束したけど…
だれが…っ♥
やっぱり恋人の僕と離れたくないんだね♥
子宮で亀頭フェラしながら言ってんじゃねぇよ♥

本当にカレの事スキなのかい綴部さん
とっ…とうじぇ…ッ
この体たらくでかい？
この調子じゃ足元の名作文学書が
河原の濡れたエロ本みたいになってしまうよ♥
フゥッ♥そろそろイキそうだ…
尻尾もう邪魔だな…ッ♥
な…やめ…ッ触るなぁッ
チンポ押し付けて種付けするから…
抜こ♥

早見くん…
もうすぐ…
終わるから…
図書室のいつもの場所で
オォッ♡今日一ッ♡精液出るぞッ♡
孕めッ♡オナホ決定ッ子種ッ♡♡
待ってて…

ぎゅうあぁぁ
バッ
パ
ビクッ
ぼろっ
ぼぼぼ
ビクッ
ビクッ
ぼぼ
本当にひどい
おもらし癖だ…
はぁ
はぁ
ビクッ
ブシャッ
ブシャァァァ
恥ずかしくないの？
ペットシーツを
はみ出してトイレも
まともに出来ないのは
犬以下だ…
ブシャァァァ
ピッ
でもまだだ
今日はタップリ
お仕置きしなきゃ
僕に隠れて
あのガキと
セックスした
なんてねぇ…
はぁ
はぁ
う…あ…

今日はボクの赤ちゃんを妊娠した時の練習をしようね
もっとお腹の力抜いて…ゼリー液が入らないだろう
ほんとはおまんこが良かったけど…
膣中射精した精子に影響があるといけないからね
パンパンに張ったおまんこの感覚楽しみだなぁ…♥
最近はおもちゃで遊んでユルくなってきてたからね…
じゃあ始めるけどボクがイク前に漏らしたらネットに動画上げるからね♥

ぶるんッ
ぶるんッ
ぶぽッ
ぶぽッ
ぶぽッ
ぶぽッ
オォ～ッ いいぞ♥
動きが固いぞ もっと奉仕の心で 腰を動かすんだよ!!
ホホそうだ♥ 下品な乳を揺らし ながら一生けん命に やるんだよ♥
この前あんなに 嫌がっていたから 今日は尻尾なしに してやったぞ♥
その分漏らさないよう ケツに意識が気合が 入りやすいだろう♥
ホホ…♥ そろそろ一発目 射精るぞ…♥
ボッ
ボッ
ボッ

あのガキとのセックスはッ
これから毎日奉仕にこいッ♥直帰でだぞ♥
アリバイ作りってことにしておいてやるっ
卒業写真をボテ腹にしてやるッ♥
オラッ♥子宮胎動させてゴクゴク精子呑めッ♥
射精クぞッ!!

ホォ〜っ
年甲斐もなく
ヤりすぎたわい♥
録画した映像は
ギリギリ顔バレ
しないよう加工して彼に
送ってあげようね♥